

# 連携医院のご紹介

今回は、腎臓病と膠原病を専門とし、腎臓病は保存期の腎不全管理から血液透析、腹膜透析の併用まで幅広く治療されています広島ベイクリニックの平林 晃先生です。



平林 晃 院長

## 医療法人社団スマイル 広島ベイクリニック

〒736-0084  
広島市安芸区矢野新町2-2-19  
電話/082-885-8280  
FAX/082-884-0525  
院長/平林 晃  
診療科目/一般内科・腎臓内科・  
膠原病内科・人工透析



### ○いつ開業されましたか。

平成23年4月に開業しました。呉市にある博愛クリニックとクレア焼山クリニックと同じスマイルグループに属しています。私は昭和55年に山口大学を卒業し故郷の広島に帰ってきました。それまでは、広島大学腎臓内科(頼岡 徳在前教授)に所属し、国立大田病院、広島大学病院、土谷総合病院、厚生連広島総合病院で腎臓病、膠原病を診ておりました。

### ○毎日の診療で大切にされていることは何ですか。

血液透析患者さんを主に診ておりますが、全身の臓器に障害を抱えていることが多いので病気の見落としがなないようにと思っています。また、患者さんには出来るだけ笑顔で接するようにして、時にはジョークの一つも言って場を盛り上げます。

血液透析を受ける患者さんは週に3回の通院治療が必要ですから、その際に少しでもリラックスして頂けるようにと考えています。

### ○開業医のやりがいは何ですか。

私のクリニックを選んで受診して頂いているので勤務医の時に以上に責任を感じていますがやりがいはあります。腎臓病では

進行を抑えるのには医師だけでなく、栄養士による食事指導をはじめ、薬剤師、検査技師など多職種で連携するチーム医療が大切です。治療して、患者さんが元気になられた姿を見ると喜びを感じます。

### ○県病院はどんなところですか。

血液透析患者さんを中心にいつもお世話になり感謝しております。休日、夜間を問わず診て頂いており助かっています。また県病院には私が以前勤務していた病院で一緒だった先生も多く、患者さんを紹介する際にも心強く思います。



広島ベイクリニック外観

#### 【取材後記】

平林先生は質問への返答も丁寧にお話くださるやさしい先生でした。クリニックは、東部流通業務団地(安芸区矢野)の中にあり、駐車場も広く、当院からのアクセスもとても良い場所でした。

# もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。  
県立広島病院で検索(URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

## Contents

- 県病院のお産は『安全』『安心』です！ ● 患者さん満足度アンケート調査の報告
- 地域健康フォーラムを開催しました！ ● 外科医の独り言(市内電車は救急車より早い)
- 連携医院のご紹介(広島ベイクリニック)

## 県病院のお産は 安全 安心 ですよ!

立ち会い出産も  
可能です!

立ち会い出産  
イメージ



本人の承諾を得て  
撮影しています

当院では正常分娩の方を対象に、立ち会い出産(夫のみ)ができます。産科で開催している『パママスクール(無料)』をご夫婦で受講していただくことが必要となります。それぞれのご夫婦の思いを大切に援助させていただきます。

### パママスクール

詳しくは県病院ホームページへ  
URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/index.htm>



抱っこや着替えの体験



お産の心構えや出産のお話



ご夫婦、お二人で参加して頂きます

## 県立広島病院からのお知らせ

### 人事異動

新任 (11月1日付)

脳神経外科 部長  
きうら よしひろ  
**岐浦 禎展**

脳神経内科 副部長  
むぐるま ともこ  
**六車 朋子**

退職 (10月31日付)

脳神経内科 副部長  
どひ えいすけ  
**土肥 栄祐**

### 11月のがんサロン

- 開催日 平成27年 11月11日(水)
- 時間 14:00~15:30
- 場所 新東棟2階 総合研修室
- テーマ ヨーガで心と体をリフレッシュ
- 対象 悪性腫瘍(がん)で通院 または入院されている患者さん 及び そのご家族
- 問合せ先 地域連携センター  
総合相談・がん相談室  
TEL:082-256-3562  
(担当:佐々木)

## KBネット

現在の参加医療機関 207 機関  
(10月26日現在)

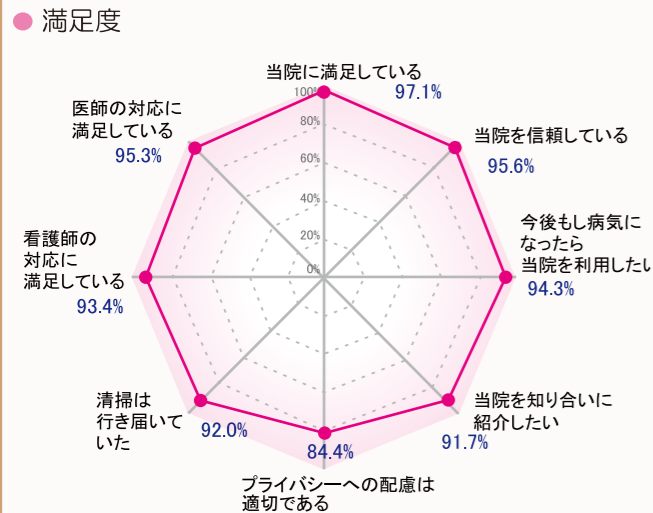
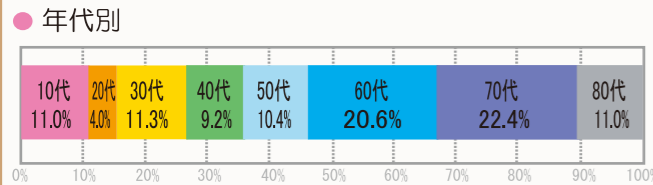
問合せ先 地域連携センター  
電話(082)252-6228(直通)



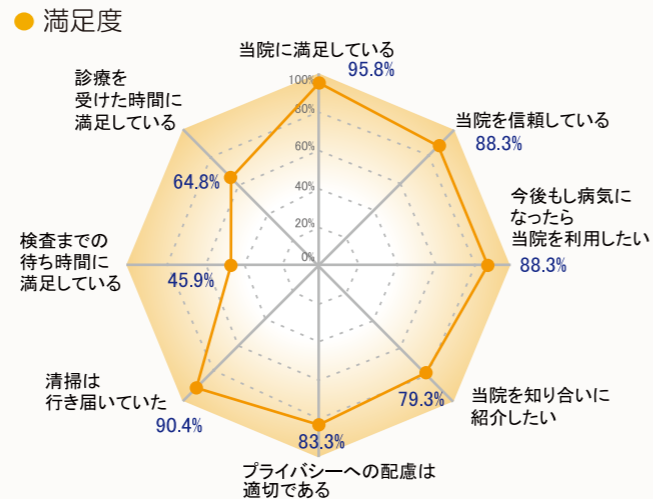
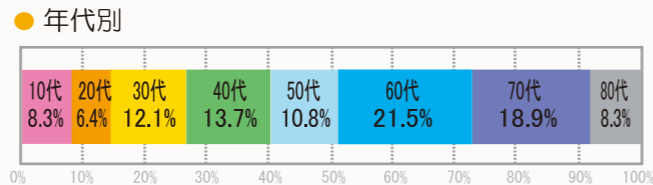
# 患者さん満足度 アンケート調査の報告

当院では毎年1回、入院及び外来患者さんに満足度調査を実施しています。多数の患者さんに御協力を頂き、誠にありがとうございました。今回はその結果をお知らせいたします。尚、今後ともお気づきの点がございましたら、院内常設のご意見箱へお寄せ下さい。

**入院** ● 調査期間：平成27年2月  
● 調査母数：332人



**外来** ● 調査期間：平成27年2月  
● 調査母数：1,468人



## 患者さんの声

### ●良かった点

- 午後診療がありがたい。
- 各科ごとにしっかり連携がとれている。
- 検査の説明が分かりやすかった。
- 笑顔で対応して頂き、心地良く治療に専念できた。

### ●不満に感じる点

- 診察後の会計時間が長すぎる。
- 受付の手順がわかりにくい。
- マスクをして早口で聞き取りにくかった。
- トイレ、駐車場が少ない。

## 地域健康フォーラムを開催しました!



満足御礼

10月3日(土)に広島市南区医師会との共催により、第10回地域健康フォーラムを開催しました。今回は「健康寿命」をテーマに、野島内科医院の野島秀樹先生や当院の心臓血管外科主任部長の三井法真先生、広島東洋カープ福永富雄トレーナーを招き、糖尿病や生活習慣病の悪化から生じる血管の病気、プロ野球選手の心とからだについて紹介しました。

会場は130名を超える地域の方々のご参加を頂きました。来年も10月に『地域健康フォーラム』を開催いたします。是非この機会にご来場ください。

左から福永トレーナー、三井医師、野島医師

# 外科医の独り言 no.50

## ー 市内電車は救急車より早い ー

日帰り出張の帰りの話です。広島駅に着いて病院に帰るために市内電車の5番乗り場で電車が来るのを並んで待っていました。すると最前列に並んでいた男性が崩れるように倒れたのです。倒れる瞬間を見ていた私がまず確認したのは「倒れた時に頭は打っていないな」でした。

周りを見渡してすぐに駆け寄る人はなく「出番」を確信した私が近寄ると同時に中年の女性が一人近づいてきました。倒れた男性の手と足がピクピクけいれんし始め、すぐに全身けいれんを起したのです。口から泡を吹き、白目をむいていた男性の年齢から考えても「てんかん発作かな」と直感した私は気道確保だけをするために男性の頭側に移動し、駆けつけてきた駅員さんに救急車を呼ぶように指示しました。

その間、中年の女性は脈をとりながらぼそぼそと私に話しかけるなかでいくつかの医学用語が出てくるのでこの女性は看護師であることが直感でわかりました。そして「プルス(脈)が触れない」と言ったかと思うと心臓マッサージをしようとしたので私は「ちょっと待ってください」と制止しました。怪訝な顔をして私を見る彼女から「ドクターですか?」と聞かれた私は無言でうなずき、彼女はほっと安心したような笑顔を見せました。

けいれんしている時は脈も取りにくく、経動脈を触って拍動を確認しており、てんかん発作であろうという私の説明に納得したようです。けいれんは終息に向かっていたのですが、顔面、唇は紫色(チアノーゼ)になり、私が男性の下顎を持ち上げるように気道を確保すると、男性はゆっくりと呼吸をし始め顔色、唇の色も徐々に回復してきました。全身けいれんは1~2分だったでしょうか、少しずつ意識も回復してきました。

そうこうしているうちに救急車が到着、見たような顔の救急隊員もあり、救急車の車体を見ると県病院に近い「〇〇救急」と書かれていました。到着した救急隊員に私が県病院のドクターであ

ること、発症時の状況、経過からおそらくてんかん発作であることを説明しました。

「で、どこの病院に搬送するのですか?県病院に搬送するのだったら同乗しますよ」と言った私の心奥底には、「ちょっとでも早く病院に帰ることができる」という期待感があったように思います。しかし、私の期待に反して救急隊員から返ってきた言葉は「てんかん発作であればかかりつけの病院があるはずなので調べてからその病院に搬送したい」で、私の淡い期待が叶うことはなかったのです。まあ、確かにそうですね、わかりました、と潔く諦めた私は5番電車に乗って県病院まで帰ってきました。

病院に帰った私が救急外来で汚れた手を洗っていたところに救急隊から搬送依頼の電話がかかってきました。対応している看護師のやりとりを聞いていると、えっ?なにになに?広島駅で倒れた男性?けいれんしていた?県病院の医者が初期対応したからそちらに搬送していいか?「それは俺じゃあ」の一言で県病院に搬送されてくることになりました。

てんかんは私の専門ではないので対応は脳神経内科医に任せようと思いつつも、救急隊員に一言いってやろうと思いつき救急車が到着するのを待っていました。そして救急外来入口で私の顔を見た救急隊員の目は点、そして私は「救急車より電車の方が早かったよ」とニヤリ。

話を聞いてみるとその後、意識が戻った男性からかかりつけの病院はない事を聞き、母親にも電話で確認していたため搬送が電車より遅くなったとのこと。

最近、救急車をタクシー代わりに使うことが問題になっていますが、電車代わりに使ってもいけません。



副院長(消化器・乳腺・移植外科主任部長)板本 敏行(いたもと としゆき)

## 患者さんへ 紹介状 持参のお願い

初診時に他医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,690円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。

## 医療機関の方へ 紹介予約のお願い

患者さん紹介時に地域連携センターを通じての診察予約をお願いします。選定療養費の負担もなく、待ち時間も短く、患者さんへのご負担が少なく済みます。

ご協力をお願いいたします。